

岩倉 (57.4k) の地点の水位と流量の関係について
(補足資料)

平成16年12月20日

木津川上流河川事務所

見直しを行った岩倉地点（57.4k）の水位流量曲線と今までの計算結果について

（12月5日のダムWGに示した内容）

当初の氾濫計算の方法は笠置地点で等流水深を仮定して不等流計算を行い、木津川 56.8k 地点で水位流量曲線を作成し、不定流計算を行い上流の氾濫量を計算していた。

しかし、岩倉峡上流の治水対策の検討を行うにあたり、岩倉峡の疎通能力が何 m^3/S であるかが重要なポイントであることから、岩倉地点（57.4k）の実測の流量観測値と河道特性を基に水位流量曲線を作成した。

その水位流量曲線は次のグラフに示すとおりであるが、見直しを行う前の値もプロットした。

見直し前は下流の 56.8k で水位流量曲線を与えて計算をしているため、岩倉地点（57.4k）の水位と流量の関係は不定流計算による点として与えられる。また、なるべく大きな流量までプロットを行うために、昭和 40 年台風 24 号洪水 319mm 引き伸ばしのケースを選定した。

（今回示す内容）

12月5日のダムWGに提出した資料は、見直し後の水位流量曲線と、水位流量曲線見直し前の昭和 40 年台風 24 号洪水（319mm 引き伸ばし）の水位と流量の関係のプロットを示したものであるが、今回は見直し前の水位と流量の関係を、昭和 40 年台風 24 号洪水だけでなく 10 洪水全てについてプロットし、その関係を表したものである。

岩倉(57.4km)地点水位流量曲線図

